

12・14 自治体労働研集会  
「財政危機と合理化」問題  
1時開講  
12・17 三里塚東峰公判  
1時 千葉地裁  
1・19 11・19第1回控訴審  
10時 東京高裁

発行所/著 民社 社  
編者 林代典 発行人 川崎文  
東京都新宿区百人町1-11  
31号三民ビル内(郵便番号160)  
電話 03(362)0149 坂井  
東京1-162855番(別荘) 坂井  
電話 03(312)8263 坂井  
社 電話 03(312)8263

# 叛旗

共産主義者同盟

12月1日  
毎月1日、16日発行  
第100号  
価格100円  
定価 1960年11月1日発行  
(密封・半年900円・一年1800円)

若疑シク覚候ハバ  
我等ノ所業終候処ヲ  
爾等眼ヲ開テ看ヨ

## <自己史>と<生活圏>の思想的基底より <死すべき国家>を透視せよ!

# 政治思想の鞍部に主体的現在の刻印を

政治思想の鞍部に主体的現在の刻印を。この文章は、戦後日本の政治思想界を批判的に検討し、主体性のある現在の刻印を求めようとする。戦後政治の動向を背景とし、政治思想の発展と変遷を論じている。

戦後日本の政治思想は、戦前とは異なる特徴を持っている。戦前政治思想の多くは、国家主義、天皇主義、軍国主義に基づいていた。しかし、戦後は民主主義、平和主義、国際主義が主流となった。この変化は、戦後の国際情勢、国内の政治状況、そして国民の意識の変化によるものである。

しかし、戦後政治思想の中には、戦前政治思想の残滓がまだ多く残存している。この残滓は、政治思想の発展を阻害し、主体的現在の刻印を形成することを妨げている。したがって、戦後政治思想を批判的に検討し、主体性のある現在の刻印を求めようとする必要がある。

政治思想の鞍部に主体的現在の刻印を。この文章は、戦後日本の政治思想界を批判的に検討し、主体性のある現在の刻印を求めようとする。戦後政治の動向を背景とし、政治思想の発展と変遷を論じている。

戦後日本の政治思想は、戦前とは異なる特徴を持っている。戦前政治思想の多くは、国家主義、天皇主義、軍国主義に基づいていた。しかし、戦後は民主主義、平和主義、国際主義が主流となった。この変化は、戦後の国際情勢、国内の政治状況、そして国民の意識の変化によるものである。

しかし、戦後政治思想の中には、戦前政治思想の残滓がまだ多く残存している。この残滓は、政治思想の発展を阻害し、主体的現在の刻印を形成することを妨げている。したがって、戦後政治思想を批判的に検討し、主体性のある現在の刻印を求めようとする必要がある。

政治思想の鞍部に主体的現在の刻印を。この文章は、戦後日本の政治思想界を批判的に検討し、主体性のある現在の刻印を求めようとする。戦後政治の動向を背景とし、政治思想の発展と変遷を論じている。

戦後日本の政治思想は、戦前とは異なる特徴を持っている。戦前政治思想の多くは、国家主義、天皇主義、軍国主義に基づいていた。しかし、戦後は民主主義、平和主義、国際主義が主流となった。この変化は、戦後の国際情勢、国内の政治状況、そして国民の意識の変化によるものである。

しかし、戦後政治思想の中には、戦前政治思想の残滓がまだ多く残存している。この残滓は、政治思想の発展を阻害し、主体的現在の刻印を形成することを妨げている。したがって、戦後政治思想を批判的に検討し、主体性のある現在の刻印を求めようとする必要がある。

政治思想の鞍部に主体的現在の刻印を。この文章は、戦後日本の政治思想界を批判的に検討し、主体性のある現在の刻印を求めようとする。戦後政治の動向を背景とし、政治思想の発展と変遷を論じている。

戦後日本の政治思想は、戦前とは異なる特徴を持っている。戦前政治思想の多くは、国家主義、天皇主義、軍国主義に基づいていた。しかし、戦後は民主主義、平和主義、国際主義が主流となった。この変化は、戦後の国際情勢、国内の政治状況、そして国民の意識の変化によるものである。

しかし、戦後政治思想の中には、戦前政治思想の残滓がまだ多く残存している。この残滓は、政治思想の発展を阻害し、主体的現在の刻印を形成することを妨げている。したがって、戦後政治思想を批判的に検討し、主体性のある現在の刻印を求めようとする必要がある。

政治思想の鞍部に主体的現在の刻印を。この文章は、戦後日本の政治思想界を批判的に検討し、主体性のある現在の刻印を求めようとする。戦後政治の動向を背景とし、政治思想の発展と変遷を論じている。

戦後日本の政治思想は、戦前とは異なる特徴を持っている。戦前政治思想の多くは、国家主義、天皇主義、軍国主義に基づいていた。しかし、戦後は民主主義、平和主義、国際主義が主流となった。この変化は、戦後の国際情勢、国内の政治状況、そして国民の意識の変化によるものである。

しかし、戦後政治思想の中には、戦前政治思想の残滓がまだ多く残存している。この残滓は、政治思想の発展を阻害し、主体的現在の刻印を形成することを妨げている。したがって、戦後政治思想を批判的に検討し、主体性のある現在の刻印を求めようとする必要がある。

政治思想の鞍部に主体的現在の刻印を。この文章は、戦後日本の政治思想界を批判的に検討し、主体性のある現在の刻印を求めようとする。戦後政治の動向を背景とし、政治思想の発展と変遷を論じている。

戦後日本の政治思想は、戦前とは異なる特徴を持っている。戦前政治思想の多くは、国家主義、天皇主義、軍国主義に基づいていた。しかし、戦後は民主主義、平和主義、国際主義が主流となった。この変化は、戦後の国際情勢、国内の政治状況、そして国民の意識の変化によるものである。

しかし、戦後政治思想の中には、戦前政治思想の残滓がまだ多く残存している。この残滓は、政治思想の発展を阻害し、主体的現在の刻印を形成することを妨げている。したがって、戦後政治思想を批判的に検討し、主体性のある現在の刻印を求めようとする必要がある。

### 公開労働講座

公開労働講座 行動委員会(株)

1月30日 千駄谷区民会館  
労働者・青年・婦人問題

2月21日 武蔵野公会堂  
戦後労働運動と労労

3月2日 武蔵野公会堂  
労働組合の運動

4月3日 武蔵野公会堂  
民族・労働 組合組織と政治的指導

4月28日 武蔵野公会堂  
労働組合の政治的指導

各回五時半開場  
詳細・書中社

# 肉ダバ状況は如何にして克服しうるか

## 「永久非転向者」に上治に伝える

神津陽

「肉ダバ」は、我が国社会主義運動の歴史の中で、最も深刻な危機を招いた時期の一つである。その原因は、単に経済的困難に起因するものではなく、社会主義運動の内部に潜んでいた矛盾の顕在化であった。この危機を克服し、社会主義運動を永久に非転向者（即ち非転向者）の手に渡らぬためには、上治（即ち上層指導者）に伝えるべき教訓は数多くある。

第一、政治的取扱いの重要性である。社会主義運動は、単に労働者の経済的要求を代表するものではなく、社会制度の根本的変革を要求するものである。したがって、政治的取扱いを怠らぬことが、運動の存続と発展の鍵となる。

第二、団結の重要性である。社会主義運動は、単なる個人の行動ではなく、団結した集団の行動である。団結が崩壊すれば、運動は瓦解する。したがって、団結を維持し、強化することが、運動の成功の鍵となる。

第三、批判の重要性である。社会主義運動は、単なる盲目的な信仰ではなく、批判的思考に基づいた運動である。したがって、批判を容れ、批判を通じて運動を前進させることが、運動の成功の鍵となる。

### 「集団による個人批判」について

「個人批判」とは、個人が個人に対して行う批判を指す。これは、個人間の意見交換や相互監視の手段として行われる。しかし、この「個人批判」が「集団による個人批判」へと変質する可能性がある。これは、集団の権威が個人の自由を抑制し、個人の意見を集団の意見に合わせることを強制する結果である。

「集団による個人批判」は、個人の自由を侵害し、個人の意見を抑制する。これは、社会主義運動の本来の目的である個人の解放と自由を損なうものである。したがって、社会主義運動においては、個人による個人批判を奨励し、集団による個人批判を抑制することが重要である。

### 古典的の雨清観への転落を悼む

「古典的の雨清観」とは、社会主義運動の初期に形成された一種の観念体系を指す。これは、社会主義運動の発展に重要な役割を果たした。しかし、この「古典的の雨清観」が、時勢の変化と共に転落し、過去のものと見做されるようになった。これは、社会主義運動の歴史において、最も痛ましい出来事の一つである。

この転落の原因は、社会主義運動の内部に潜んでいた矛盾の顕在化に起因する。この矛盾を克服し、社会主義運動を前進させるためには、過去の「古典的の雨清観」を批判的に検討し、新たな観念体系を構築することが重要である。

### 個人間批判の政治的取扱いについて

個人間批判は、個人間の意見交換の手段として行われる。しかし、この個人間批判が政治的取扱いを受ける可能性がある。これは、個人間の意見交換が、社会主義運動の発展に重要な役割を果たすためである。

政治的取扱いを受ける個人間批判は、個人の自由を侵害し、個人の意見を抑制する。これは、社会主義運動の本来の目的である個人の解放と自由を損なうものである。したがって、社会主義運動においては、個人間批判を政治的に取扱いせず、個人の自由を尊重することが重要である。

### 「神津体系」批判作業への反論の視点

「神津体系」批判作業は、社会主義運動の発展に重要な役割を果たした。しかし、この批判作業が、個人の自由を侵害し、個人の意見を抑制する可能性がある。これは、社会主義運動の本来の目的である個人の解放と自由を損なうものである。

したがって、社会主義運動においては、「神津体系」批判作業を個人の自由を尊重する形で進めることが重要である。これは、社会主義運動の発展に重要な役割を果たすためである。

### 自立と日常

自立と日常は、社会主義運動の発展に重要な役割を果たす。自立は、個人の自由を尊重し、個人の意見を表現することを意味する。日常は、社会主義運動の発展に重要な役割を果たす。自立と日常を重視することは、社会主義運動の発展に重要な役割を果たす。

自立と日常を重視することは、社会主義運動の発展に重要な役割を果たす。自立は、個人の自由を尊重し、個人の意見を表現することを意味する。日常は、社会主義運動の発展に重要な役割を果たす。自立と日常を重視することは、社会主義運動の発展に重要な役割を果たす。

発行／自治体労働者集会実行委員会  
連絡先／著 辰社  
定価／三〇〇円（残部僅少）

一更に、また、現在より起て  
神津陽／吉本 隆明  
残部僅少